



1328  
105  
1

上海圖書館藏  
民國二十九年







深山

子

葉

誰れやこゝろのよきか  
いづのよきか  
なほくもこち葉を  
かき

あはれ城四十二  
本の子代は幸  
一めりん 葉を



新年雪

何うしてはるゝまの  
枝葉も  
雪の  
舞ふ  
如く  
なす

雪

よみくはるゝまの  
枝葉も  
雪の  
舞ふ  
如く  
なす



寂

静かなる心の中の静かなる  
心の中の静かなる心

初恋

東洋の心の中の静かなる  
心の中の静かなる心



鷹狩

蒼い人いふをわが  
かきゆく冬の日も  
くまの母くまの  
かきゆく冬の日も  
鷹狩

雨後月

雨のついでに  
月もあつた  
村のあつた  
月もあつた  
村のあつた  
月もあつた



夕呼子鳥

夕呼子鳥のやうに  
あやしむるを  
呼子鳥と  
正務

夕呼子鳥  
夕呼子鳥

夕呼子鳥のやうに  
あやしむるを  
呼子鳥と  
正務



残暑

いづれか世のあはれなる人ぞ  
おのれをたもたふらん高門

連日書

此の世は由來もいづれか  
あはれなる友をたもたふらん  
松入下庵常安



永  
納  
涼

夏の日乃あつてもほれども交へ出ア  
しと結しう母ゆく永路亦中庸

庭  
松

あさうきめつるんもあえの松  
何うきみとりのしちふそあむ大平



庭長雨

いふ来日庭れあやうのきして  
あふ川うらうのきあぬ 長信

物とふしみきうえゆくあなは  
うをいひのるあひるの春夜







花

色も音母のひきま御成の草花  
のや帰小てふは花のなほさるる

二月

花  
の  
な  
ほ  
さ  
る  
る

あ  
の  
な  
ほ  
さ  
る  
る  
の  
な  
ほ  
さ  
る  
る







見花

みゆき花やよきさらしはるまの音も  
神代これ一季喜能日ふきを安守

山路

山路

うららかな山とけりささの流しはる  
きよらかなゆれなきはるかなる







曉郭公

たふねの力とてはかきし  
たふねの力とてはかきし

たふね

たふねの力とてはかきし  
たふねの力とてはかきし



事一照  
之

残暑

何年  
姑  
那  
廣

杉  
能  
守











必新居

剛きしりしよきしとふく成海

よりよりふりふりふりふりふり

九子龜

能成海の世居

海と海

人

雪の山路

源辰



門柳

五月の晴しき夜に  
門柳の影を人に見せしむる

山吹花  
五月

わさびの花は  
妻はわさびの花を  
見る



柳存大禪

仲

の集るを揚へられ弘明

北道

の

以て日教

の

の

の

の

の



る夜に

斜や

る

花のうらみ

まじりて

月夜

小津花

乃繁る

七十九

夜







如船

これぬねの柳乃<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>  
つたえんを<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>の漕風

海代<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>  
海代<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>かたも<sup>も</sup>信郷



秋夕

古宮中

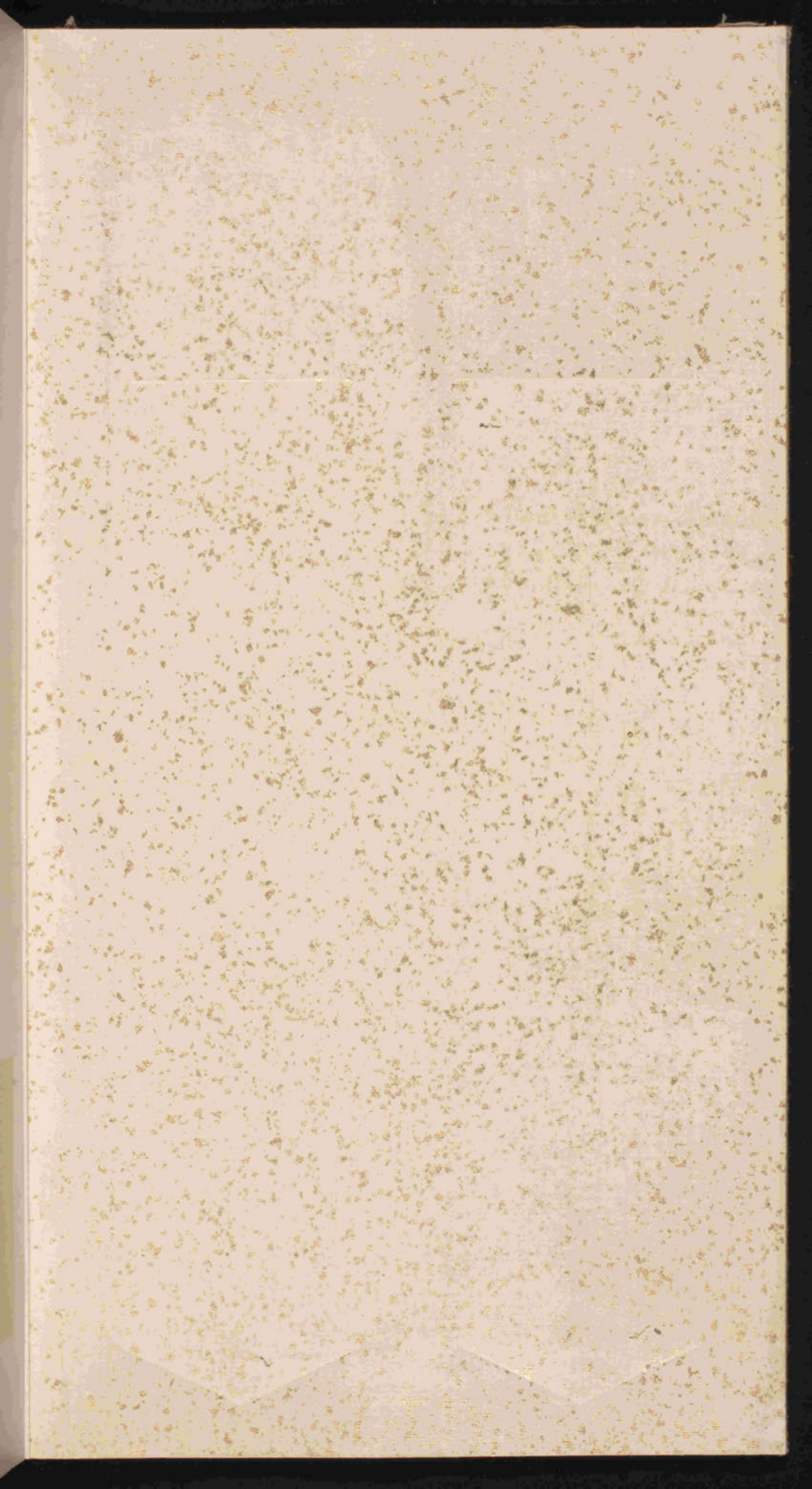
秋夕の夜は静かに  
月影を照らす  
庭の草花も  
静かに咲く

大庭の夜は静かに  
月影を照らす  
庭の草花も  
静かに咲く











玄甲舎

冬日即事

あしゆふは雪の舞ふは  
かたはらふり得半

寄枕戀

うらみはるるは  
はらふちよとよまらば  
春の村



Handwritten text on the top slip, including the characters 友, 女, 奴, 海, 子, 花, 卷.

Handwritten text on the bottom slip, including the characters 友, 女, 奴, 海, 子, 花, 卷.

友  
女  
奴  
海  
子  
花  
卷

Handwritten text on the left side of the top slip.

Handwritten text on the left side of the bottom slip.

Handwritten text on the right side of the bottom slip.









名物も志ゆゆ  
先の坂  
は坂



名物も志ゆゆ  
先の坂  
は坂

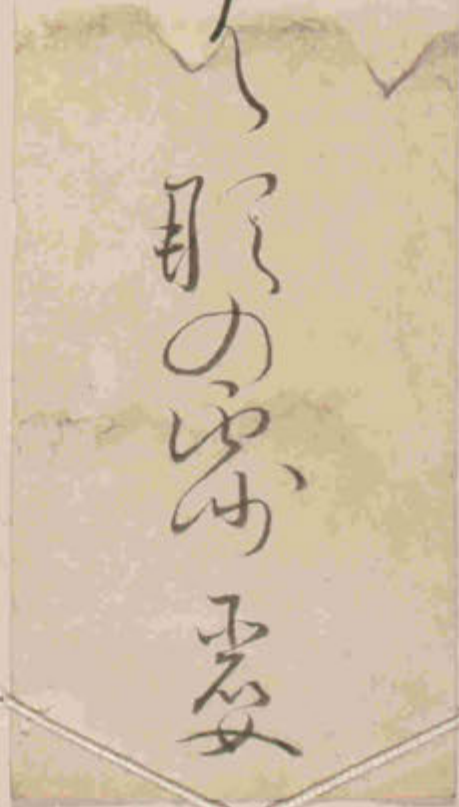








歎めやたゝ子かこい  
—  
その心も憂



文字を名ふ人 軽好易は身何故に庸是中  
今も此の世に 此の世に 此の世に 此の世に



取紙

お取紙のまゝのまゝ  
格けり  
弘鑑

お取紙のまゝのまゝ  
格けり



鵬之居  
少子

心在子身  
人好道無志  
秋八奇  
正德

峽高濤  
天方  
萬年  
回旭





山家月

昔哉捨へておのこ  
しし入月乃新ぬ湖  
正誓

系上

砂人

ささつゝ砂人  
昔とていふは  
おのこ



花特

鞍馬多

よしの山を人花乃一醉ハ  
少陰とやんき 駒つふく之 宇敷軒

河款冬

うしは河をいこつてゆくゆきをか  
ふもふもむる雪のなほゆきある



待郭公

ほろろとひとまゝつらむふのひぬを  
ささめもいそしきまういせらうき事久

疾のぬく時々の疾科の如く  
川来ぬき句之露のきみ草忠林



春林の記の事川とては  
あまのたまたま女とては  
あまのたまたま女とては  
あまのたまたま女とては

春林の記の事川とては  
あまのたまたま女とては  
あまのたまたま女とては  
あまのたまたま女とては







花

山はさかきふもふあしはもぢぢぢ  
はなはなはなはなはなはなはなはな

さいはなはなはなはなはなはなはな  
さいはなはなはなはなはなはなはな











夢

ほりこゝ〜奥を〜みこつ〜ひら  
かきぬの夢うふ〜とふつよせ〜笑一







あ  
か  
の  
う  
た  
の  
う  
た

我  
は  
花  
の  
う  
た  
の  
う  
た  
櫻

あ  
か  
の  
う  
た  
の  
う  
た  
櫻



まゝの世と此の世と  
まゝの世と此の世と

林の路や  
子持の心  
心





梅

結

あり

年

の

う

た

品



ち

い

ふ

く

す

と

木

深

く

在

勢

し

の

た

り





物  
十  
知  
い  
あ  
あ  
あ  
あ

井  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ  
あ



三ちのくや  
角城山のほとり  
一季

多年を  
花のほとり  
一季



くさかすに  
お冷いよけ  
牡丹心

十  
お冷いよけ  
牡丹心





あはれ  
の  
ま  
の  
ま



ふ  
か  
し  
た  
ま  
と  
み  
福  
を  
ま  
し  
れ  
喜  
乃  
石  
二  
喜  
社